

## 大久保地区の公共施設再編(案)の概要

これから増える経費

(激増傾向…最近 10 年で 3 倍のものも)

限られた税収

(横ばい又は減少傾向…最近 10 年は横ばい)

### 施設の維持更新費

- 子ども子育て支援費
- 高齢者福祉費
- その他社会保障費



- 少子高齢化社会の到来による生産者人口の減少
- 労働者人口の減少
- 不安定な雇用
- 不透明な景気

### 【背景】

- 公共施設の約 7 割が築 30 年以上
- 最近の財政状況（収入減、支出増）では、すべての施設を更新することは不可能
- 既存の施設が時代や求められているニーズに対応できていない

### 【施設再編の大前提】

- 機能最優先
  - 総量の圧縮
  - 質の向上 …… 節約できた経費の一部でさらに改善
- 共通経費（建設費、改修費、人件費、維持管理費等）の節約

### 【目的】

- 耐用年数に近い老朽化した施設の再生 …… 安全安心
- 効率的な財政運営を行うことによって生み出される財源を活用したサービスの充実
- 必要なニーズに確実に応え、快適な施設を提供

### 【手法】

京成大久保駅を中心とする半径 1 km 圏に位置する老朽化の進む公共施設（大久保公民館・市民会館、屋敷公民館、大久保図書館、藤崎図書館、ゆうゆう館、あづまこども会館、勤労会館）を中央公園に集約し、建て替えます。

### 【課題】

- ◆ 新たな施設までの移動距離が長くなる。
- ◆ 現在の活動を継続できる規模の確保。
- ◆ 複合化した各機能の適切な運営。

